平成30年度　埼玉県立所沢特別支援学校　年間指導計画

学部	教育課程	学年/グループ	領域・教科等名
中	一般・重複	イエロー	数学

年間目標

・5までの数量や簡単な図形についての概念や性質などを理解し、事象を数理的に処理する技能を身に付ける。
・日常の事象を筋道を立てて考え、基本的な数量や図形等の性質などを見いだし、数字や簡単な記号等を用いて事象を表現する。
・数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、数学で学んだことを日常生活に活用しようとする。

学期	月	単元(題材)名	授業時数	単元(題材)目標	実施時数	評　価
1学期	4	5までの数	13	・5までの数量についてのイメージを持ち、具体物を操作しながら集合数を数詞、数字と関係付けることができる。 ・5までの数詞と数字、具体物との関係に着目し、数字や図などを用いて表現することができる。 ・5までの数量に関心をもち、学習で学んだことを日常生活で活用しようとする。	14	タイルやくだものカードを使って指 ネートをしたが、薄かったため操作しづらかった。操作しやすいように、厚い紙にした がよかった。
	5					
	6					
	7					
2学期	9	長さ	10	・身の回りにある物を定規で測定する技能を身に付ける。 ・長い・短い、cm等の用語を用いて、二つの物の相関関係や長さ表現することができる。 ・一方を基準にして比べることに関心をもつことができる。		
	10	お金	11	・金種を理解することができる。 ・数字とお金が一致し、値段と同じお金を準備することができる。		
	11					
	12					
3学期	1	くらべてみよう	12	・ゲームの結果を簡単な記号を用いた表やグラフで表しながら、　その読み取り方の技能を身に付けることができる。 ・ゲームの結果を簡単な記号や数字に置き換え表やグラフで表現することができる。 ・　数量や図形に関心をもち、学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶことができる。		
	2					
	3					
年間授業時数			46			

事例３－１

単元指導計画

学部	教育課程	学年/グループ	教科・領域等名	単元時数	13
中	一般・重複	イエローグループ	数学	年間授業時数	46

年間目標	・5までの数量や簡単な図形についての概念や性質などを理解し、事象を数理的に処理する技能を身に付けることができる。（知識・技能） ・日常の事象を筋道を立てて考え、基本的な数量や図形等の性質などを見いだし、数学的な表現を用いて事象を表現することができる。（思考力・判断力・表現力） ・数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、数学で学んだことを日常生活に活用しようとする。（学び向かう力・人間性）
単元(題材)名	**５までの数**
単元(題材)目標	・5までの数量についてのイメージを持ち、具体物を操作しながら集合数を数詞、数字と関係付けることができる。（知識・技能） ・5までの数詞と数字、具体物との関係に着目し、数字や図などを用いて表現することができる。（思考力・判断力・表現力） ・5までの数量に関心をもち、学習で学んだことを日常生活で活用しようとする。（学び向かう力・人間性）

指導計画

次	日付	①主な内容	観点別評価 知	観点別評価 思	観点別評価 学	②授業形態	③時数
1	4/20(金) 4/23(月) 4/25(水) 4/27(金)	数詞-数字-具体物 の 一致 ・数量ー数字、数字ー数量 ・おにぎりパズル・数パズル ・サイコロを使ったゲーム	◎	○		個別 グループ	4
2	5/7(月) 5/9(火) 5/11(金) 5/14(月) 5/18(金) 5/21(月) 5/23(水)	数の合成・分解 ・「合わせる」をパズルで考える ・「合わせる」「分ける」を図に当てはめて考える ・タイル → イラスト → 数字　で考える	○	◎			8
3	5/25(金) 5/30(月)	まとめ ・ボールゲーム・ラムネくばり	○	○	◎		2

児童生徒目標・手立て・変容

生徒氏名	④個人目標	⑤手だて	⑥児童・生徒の変容(評価)
A	・5までの数を二つの数に分けて数字で表すことができる。 ・二つの数を一つにまとめて数字で表すことができる。	・「合わせる」「分ける」を視覚的に分かりやすくするために図を用意する。 ・操作しながら考えられるように、食べ物消しゴムやタイル、シール等具体物や半具体物を用いる。	

評価

項目	主な内容(①に対して)	授業形態(②に対して)	時数(③に対して)
評価	適　・　不適	適　・　不適	適　・　不適
課題	ードは、薄くて操作しにくそうだった。		
改善策	操作して、考える教材を増やす。		
単元目標の達成度(A,B,C,D)	C		
その他			

氏　名

＜様式２（各教科・領域等）＞

第１学期　　２０１８年度　中学部

教科領域等	学習課題・目標	指導内容・方法・手立て	評価
自立活動（時間における指導）	< > < >		
日常生活の指導	< >		
生活単元学習			
作業学習			
特別活動			
国	【　　グループ】 < >		
数学	【イエローグループ】 の数を二つに分けて数字で表すことができる。 ・二つの数を一つにまとめて数字で表すことができる。	・「合わせる」「分ける」を視覚的に分かりやすくするために図を用意する。 ・操作しながら考えられるよう食べ物消しゴムやタイル、シール等具体物、半具体物を用いる。	・５までの数を二つに分けて数字で表すことができた。 ・二つの数を一つにまとめて表すことができ
美術			

計画・評価のサイクル